



西中学校通信

第6号

自主的に考え、正しく行動できる生徒

〈自立と自律〉

「ウサギとカメ」

童話の「ウサギとカメ」の話は、知っている人も多いことでしょう。カメと競走をしたウサギが、大きな差をつけて途中で寝てしまい、結局、カメに負けてしまうという話ですね。

紹介したいのは、ある本の中に出ていたエピソードです。

ある落語家さんが、真打しんうち（落語の世界の最高の階級）に昇進したとき、テレビで活躍している有名な落語家さんも、同時に、昇進したそうです。

真打昇進が発表されると、二人がいる部屋に、多くのマスコミが押し寄せました。しかし、フラッシュを浴びて取材されるのは、テレビで活躍している落語家さんだけであり、隣にいるその落語家さんには、誰一人として声をかける人はいなかったそうです。

悔しくて、涙をこらえきれずに、部屋を出ていったその落語家さんは、家に帰ろうと電車に乗りました。そこで、偶然、昔から自分を応援してくれている人物と出会います。そして、悔しい胸の内を話しました。

すると、その応援してくれている人が「ウサギとカメの童話を知っていますか。どうして、ウサギはカメに負けたのだと思いますか」と聞いてきました。

落語家さんは「ウサギには、いつでも勝てるという油断があったからです。」と答えました。

応援してくれている人は「0点の答えです。」と返し、続けます。

「カメにとって、相手は、ウサギでもライオンでも何でもよかったのではないですか。なぜなら、カメは一度も相手を見ていません。カメはゴールだけしか見ていません。しかし、一方のウサギは、カメのことばかりを気にしていてゴールを考えていなかったのではないですか。」

そして、「あなたのゴールは、テレビで活躍している落語家さんなのですか。あなたのゴールは、違うところにあるのではないですか。ゴールだけを見て進むカメでいいのではないですか。」

感謝 感謝 感謝・・・PTA本部による花壇の整備

PTA本部の方々が、正門や体育前の花壇の手入れをしてくださいました。多くの方々によって学校が支えられています。いつもありがとうございます。



(裏面あり)